

鈴屋金物

共同開発「MADAI BOOST」の効果

業務管理システムで働き方改革実現

東北経産局25年度DX大賞を受賞

建築現場で金属工事を行っている鈴屋金物（仙台市 鈴木大輔代表取締役）は、自社が共同開発に関わった業務管理システム「MADAI BOOST」（マダイブースト）を導入し、見積もり業務を中心とした大幅な業務改善に成功した。導入前より作業時間を短縮し、取引先への見積もり提出件数が約4倍に拡大。煩雑だった作業をDXで刷新し、東北経済産業局が表彰する2025年度の「TOHOKU DX大賞」でビジネスイノベーション部門の優秀賞に輝いた。

鈴屋金物は主に、マンションや庁舎などの建築現場に金属加工製品および既製金物を納入・施工している。扱う製品は、鉄骨やサッシを除くほぼ全ての金属部材に及ぶ。「階段に取り付ける手すり一つをとって



も、形状や長さ、材質の違いで品目は多岐にわたる」

と話す鈴木社長。ゼネコンからの見積もり依頼では、部材が数十、数百項目に及ぶことも珍しくない。

「MADAI BOOST」の導入前は、紙で届く明細を画面と照合しながら、複数の仕入れ先に個別に相見積もりを依頼していた。項目を探し出すだけでも時間を要し、1件の作成に2〜3時間、場合によっては複数

や契約、売上管理が個別になつてしまつたため、自社の業務フローに合わせて全ての行程を一元管理できるシステムを目指した。

2023年11月に開発に着手。仕入先や取引工場の担当者や打ち合わせを重ね、どのような依頼の仕方であれば迅速に対応できるのかをヒアリングした。それと同時に、社内でDXの研修を始めた。試行錯誤の末、使い勝手を追求してカスタマイズし、24年3月に導入した。

「MADAI BOOST」では、ゼネコンから送られてきた明細をシステムに読み込ませ、それに含まれるキーワードと合致する部材をワンクリックで抽出できる。相見積もりの比較や選定も画面上で完結し、仕入れ先にメール送信することができる。これにより、ゼネコンに依頼されていた見積もり業務は、実務作業換算で30分程度、早いケースでは10分ほどで完了するようになった。浮いた時間を別の作業に充てるなど、働き方改革が大きく前進した。

煩雑な作業の効率化は、受注機会の拡大に直結した。元請けへの迅速な対応が可能となり、年間の見積もり提出件数は導入前の約450件から、24年12月時点で約1700件超と大幅に増加。3年前との比較で約4倍に拡大し、新規顧客からの引き合いも増えた。「顧客の依頼に即応できることが、そのままビジネスチャンスにつながっている」と鈴木社長はさらなる売上アップを見据えた。

導入効果は、発注状況や契約管理、利益率の確認といった可視化につながった。担当者ことにはばらばらだった工程管理を、社内で共有できるようになった。また、以前は特定の社員に

任せきりになっていた作業を共有することにより、属人化も避けられた。社内の普及・拡大には、若手女性スタッフの先導が効いた。操作方法の習得が早く、導入効果のメリットをいち早く悟った女性スタッフが、従来通りの作業から抜け出せないベテラン

スタッフの意識を変えた。「当初は私だけが社員にシステム利用を呼び掛けたが、それは間違っていた。社員同士がシステムの素晴らしさを理解し、業務改善につながることを回りに広めてくれたのが良かった」と鈴木社長は振り返った。

「顧客の依頼に即応できることが、そのままビジネスチャンスにつながっている」と鈴木社長はさらなる売上アップを見据えた。

「MADAI BOOST」のシステム開発について、アジャイル型開発を採用したことも重要な点だ。共同開発者でミンサンテックの藤倉修一代表取締役は、「アジャイル型開発の最大の優位性は開発ベンダーとユーザーが『ワンチーム』となり、実務の最前線で製品を磨き上げられる点にある」と捉える。

実際に建設現場の実務へエンジニアが入り込み、現場の声を即座に機能へ反映させる手法で開発。要件定義に長時間を費やすのではなく、短いサイクルで検証と改善を繰り返すことで「現場が本当に必要とする『痛い所』が早く機能を実装している」と藤倉代表。その結果、業務時間を最大90%削減する成果も実証された。「この『現場主導』のスピード感が、変化の激しい建設業界で事業価値を最大化する鍵」と語る。一方、課題として大型案

現場の声を即座に反映

ミンサンテック 藤倉代表

「MADAI BOOST」のシステム開発について、アジャイル型開発を採用したことも重要な点だ。共同開発者でミンサンテックの藤倉修一代表取締役は、「アジャイル型開発の最大の優位性は開発ベンダーとユーザーが『ワンチーム』となり、実務の最前線で製品を磨き上げられる点にある」と捉える。

「現場が本当に必要とする『痛い所』が早く機能を実装している」と藤倉代表。その結果、業務時間を最大90%削減する成果も実証された。「この『現場主導』のスピード感が、変化の激しい建設業界で事業価値を最大化する鍵」と語る。一方、課題として大型案



TOHOKU DX大賞のトロフィーを手にする鈴木金物の鈴木社長



藤倉代表

「現場が本当に必要とする『痛い所』が早く機能を実装している」と藤倉代表。その結果、業務時間を最大90%削減する成果も実証された。「この『現場主導』のスピード感が、変化の激しい建設業界で事業価値を最大化する鍵」と語る。一方、課題として大型案

「現場が本当に必要とする『痛い所』が早く機能を実装している」と藤倉代表。その結果、業務時間を最大90%削減する成果も実証された。「この『現場主導』のスピード感が、変化の激しい建設業界で事業価値を最大化する鍵」と語る。一方、課題として大型案

「現場が本当に必要とする『痛い所』が早く機能を実装している」と藤倉代表。その結果、業務時間を最大90%削減する成果も実証された。「この『現場主導』のスピード感が、変化の激しい建設業界で事業価値を最大化する鍵」と語る。一方、課題として大型案

2026年1月上旬 東北6県の主要建設資材価格表

品名	規格	単位	建設物価調査会 (現場持込価格：消費税別：円)						
			青森	盛岡	秋田	山形	仙台	福島	東京
異形棒鋼	SD295A D16 (特約店経由)	t	101,000	101,000	101,000	101,000	100,000	101,000	105,000
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm (特約店経由)	t	111,000	111,000	111,000	111,000	110,000	110,000	106,000
セメント	普通ポルトランド パラ	t	20,400	20,400	20,200	20,000	18,400	19,500	18,000
レディーミクストコンクリート	18-18-25 (20)	m ³	20,100	25,500	22,900	19,800	17,900	21,000	23,800
コンクリート用砕石	20~5mm	m ³	5,100	3,900	6,300	4,200	4,500	4,250	5,700

26年度予算を1.1兆円規模に

東北整備局に要望書提出

東北建設業協会連合会（会長・千葉嘉春宮城県建設業協会会長）と東北公共工事業品質確保・安全施工協会は、千葉会長、向井田会長、長内雄二会長、山形県建設業協会の太田政往会長、福島県建設業協会

予算で確保するよう求めた。東北整備局への要望活動には、千葉会長、向井田会長、長内雄二会長、山形県建設業協会の太田政往会長、福島県建設業協会